

### 3 死産・周産期死亡

母の年齢が15歳未満を除いた死産・周産期死亡について、母の就業状態別及び職業別にみると次のとおりである。

#### (1) 母の就業状態別、職業別にみた死産

平成22年度の自然・人工別死産の構成割合を母の就業状態別にみると、有職では自然死産が45.2%、人工死産が54.8%、無職では自然死産が48.2%、人工死産が51.8%となっている。(平成17年度の前回調査は、有職では自然死産37.8%、人工死産62.2%、無職は自然死産46.1%、人工死産53.9%)

死産率(出産千対)を母の就業状態別にみると、有職は29.8、無職は18.6となっている。(前回は、有職42.4、無職20.9)

これを母の職業別にみると、「運搬・清掃・包装等職」が78.4、「輸送・機械運転職」が65.5と高く、一方、「専門・技術職」が17.7、「保安職」が17.8と低くなっている。(表8)

表8 母の就業状態・職業別にみた自然・人工死産数・構成割合及び死産率 —平成22年度—

母の職業	死産数(胎)			構成割合(%)			死産率 (出産千対)
	総数	自然死産	人工死産	総数	自然死産	人工死産	
総数	26 412	12 353	14 059	100.0	46.8	53.2	24.2
就業者総数(有職)	10 138	4 581	5 557	100.0	45.2	54.8	29.8
A 管理職	122	82	40	100.0	67.2	32.8	24.2
B 専門・技術職	2 111	1 195	916	100.0	56.6	43.4	17.7
C 事務職	2 453	1 294	1 159	100.0	52.8	47.2	23.1
D 販売職	1 002	342	660	100.0	34.1	65.9	38.1
E サービス職	2 678	855	1 823	100.0	31.9	68.1	56.1
F 保安職	45	18	27	100.0	40.0	60.0	17.8
G 農林漁業職	105	65	40	100.0	61.9	38.1	26.2
H 生産工程職	491	226	265	100.0	46.0	54.0	34.3
I 輸送・機械運転職	102	44	58	100.0	43.1	56.9	65.5
J 建設・採掘職	67	31	36	100.0	46.3	53.7	41.0
K 運搬・清掃・包装等職	97	19	78	100.0	19.6	80.4	78.4
L 職業不詳	865	410	455	...	...	...	...
無職	13 129	6 334	6 795	100.0	48.2	51.8	18.6
不詳	3 145	1 438	1 707	...	...	...	...

(2) 母の就業状態別、職業別にみた周産期死亡

平成22年度の周産期死亡率（出産千対）を母の就業状態別にみると、有職は4.4、無職は3.7となっている。（前回は、有職5.1、無職4.2）

これを職業別にみると、「輸送・機械運転職」が8.2と最も高く、一方、「専門・技術職」及び「保安職」が3.6と最も低くなっている。（表9）

表9 母の就業状態・職業別にみた周産期死亡数及び周産期死亡率 —平成22年度—

母の職業	周産期死亡数(胎・人)			周産期死亡率		
	総数	妊娠満22週 以後の死産	早期 新生児 死亡	総数 (出産千対)	妊娠満22週 以後の死産 (出産千対)	早期 新生児 死亡 (出生千対)
総数	4 516	3 647	869	4.2	3.4	0.8
就業者総数(有職)	1 451	1 174	277	4.4	3.5	0.8
A 管理職	21	15	6	4.3	3.0	1.2
B 専門・技術職	419	331	88	3.6	2.8	0.7
C 事務職	421	330	91	4.0	3.2	0.9
D 販売職	108	85	23	4.2	3.3	0.9
E サービス職	212	180	32	4.7	4.0	0.7
F 保安職	9	8	1	3.6	3.2	0.4
G 農林漁業職	25	22	3	6.4	5.6	0.8
H 生産工程職	74	59	15	5.3	4.2	1.1
I 輸送・機械運転職	12	12	-	8.2	8.2	-
J 建設・採掘職	8	8	-	5.1	5.1	-
K 運搬・清掃・包装等職	8	6	2	7.0	5.2	1.8
L 職業不詳	134	118	16	...	...	...
無職	2 567	2 036	531	3.7	2.9	0.8
不詳	498	437	61	...	...	...